2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月９日

上場会社名　　Umios株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　1333　　ＵＲＬ　https://www.umios.com/jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長執行役員　　（氏名）安田　大助
問合せ先責任者　（役職名）経営企画部　部長役　　（氏名）近藤　康裕　　ＴＥＬ　03-6833-0696
半期報告書提出予定日　　2026年11月10日　　配当支払開始予定日　2026年12月11日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	569,271	6.1	14,363	△23.4	14,237	△22.3	6,978	△44.0
2026年３月期中間期	536,697	0.9	18,740	16.6	18,332	16.8	12,455	△9.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　11,658百万円（△3.2%）　2026年３月期中間期　12,040百万円（△50.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	46.43	―
2026年３月期中間期	82.41	―

（注）当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり中間純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	761,078	294,749	32.7
2026年３月期	751,702	291,487	32.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　248,552百万円　2026年３月期　247,236百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	50.00	―	28.00	―
2027年３月期	―	22.00			
2027年３月期(予想)			―	23.00	45.00

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。2026年３月期の第２四半期末につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、2026年３月期の年間の配当金につきましては、株式分割の実施により単純合算できないため表示しておりません。なお、当該株式分割の影響を考慮した場合の2026年３月期の１株当たりの年間配当金は44円67銭（中間配当16円67銭、期末配当28円）となります。

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	0.4	32,000	2.6	30,000	△4.0	15,000	△32.4	99.22

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　10社（社名）Pet World International Sdn. Bhd.、他９社　、除外　2社（社名）Umiosロジ株式会社、他１社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、〔添付資料〕Ｐ．６「２．中間連結財務諸表及び主な注記（３）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	151,736,511株	2026年３月期	151,736,511株
② 期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,821,132株	2026年３月期	553,212株
③ 期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	150,315,265株	2026年３月期中間期	151,141,940株

（注）１．当社は、2026年１月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

２．当社は、取締役等に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（ＢＢＴ）」及び従業員に対する株式給付制度「株式給付信託（Ｊ－ＥＳＯＰ）」を導入しております。期末自己株式数には、株式給付信託（ＢＢＴ及びＪ－ＥＳＯＰ）の保有する当社株式（2027年３月期中間期　1,687,828株、2026年３月期　420,428株）が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2027年３月期中間期　1,288,198株、2026年３月期中間期　464,897株）

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界経済・競合状況・為替・金利の変動等にかかわるリスク等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、〔添付資料〕Ｐ．２「１．経営成績等の概況（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績等の概況 …… 2
（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 6
（企業結合等関係） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 10
（重要な後発事象の注記） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績等の概況

経営成績等の概況については、本日（2026年11月９日）ＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイト（https://www.umios.com/jp/corporate/ir/library/）に掲載いたしました決算説明会資料に記載しておりますので、ＴＤｎｅｔまたは当社ウェブサイト（https://www.umios.com/jp/corporate/ir/library/）より、決算説明会資料をご覧ください。

（２）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2026年５月11日の「2026年３月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,141	52,976
受取手形、売掛金及び契約資産	143,722	153,596
棚卸資産	244,733	263,923
その他	15,480	19,281
貸倒引当金	△609	△431
流動資産合計	457,468	489,346
固定資産		
有形固定資産		
土地	40,370	26,356
その他（純額）	131,561	115,073
有形固定資産合計	171,932	141,430
無形固定資産		
のれん	7,622	15,610
その他	25,658	21,657
無形固定資産合計	33,280	37,267
投資その他の資産		
投資その他の資産	90,263	94,367
貸倒引当金	△1,241	△1,333
投資その他の資産合計	89,021	93,034
固定資産合計	294,234	271,731
資産合計	751,702	761,078

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,078	51,023
短期借入金	137,386	155,473
コマーシャル・ペーパー	29,000	20,000
引当金	2,921	2,081
その他	57,909	52,314
流動負債合計	281,295	280,893
固定負債		
社債	51,000	51,000
長期借入金	89,494	101,538
退職給付に係る負債	20,990	19,190
引当金	689	1,099
その他	16,746	12,606
固定負債合計	178,920	185,435
負債合計	460,215	466,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	26,095	24,973
利益剰余金	157,947	159,895
自己株式	△478	△2,100
株主資本合計	203,564	202,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,156	16,721
繰延ヘッジ損益	1,031	37
為替換算調整勘定	25,142	26,995
退職給付に係る調整累計額	2,342	2,028
その他の包括利益累計額合計	43,672	45,783
新株予約権	－	56
非支配株主持分	44,250	46,141
純資産合計	291,487	294,749
負債純資産合計	751,702	761,078

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	536,697	569,271
売上原価	458,745	490,223
売上総利益	77,952	79,048
販売費及び一般管理費	59,212	64,684
営業利益	18,740	14,363
営業外収益		
受取配当金	962	624
持分法による投資利益	－	596
為替差益	－	65
雑収入	2,122	1,938
営業外収益合計	3,084	3,225
営業外費用		
支払利息	2,060	2,928
持分法による投資損失	32	－
為替差損	1,050	－
雑支出	348	424
営業外費用合計	3,492	3,352
経常利益	18,332	14,237
特別利益		
固定資産売却益	177	1,667
投資有価証券売却益	3,800	741
その他	62	6
特別利益合計	4,039	2,415
特別損失		
固定資産処分損	127	249
減損損失	－	0
関係会社株式売却損	－	1,773
その他	25	580
特別損失合計	152	2,604
税金等調整前中間純利益	22,218	14,048
法人税等	6,234	4,644
中間純利益	15,984	9,403
非支配株主に帰属する中間純利益	3,528	2,425
親会社株主に帰属する中間純利益	12,455	6,978

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	15,984	9,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,305	1,566
繰延ヘッジ損益	478	△993
為替換算調整勘定	△5,409	1,242
退職給付に係る調整額	△68	△313
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,249	753
その他の包括利益合計	△3,943	2,254
中間包括利益	12,040	11,658
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	10,219	9,089
非支配株主に係る中間包括利益	1,821	2,568

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（企業結合等関係）

取得による企業結合

（子会社株式の取得）

当社は、2026年６月29日開催の取締役会決議に基づき、完全子会社であるUmiosペットケア株式会社を通じて、Pet World International Sdn. Bhd.の発行済株式を取得し、当該会社及びその子会社９社を連結子会社といたしました。

１．企業結合の概要

（１）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：　Pet World International Sdn. Bhd.

事業の内容　　：　Pet World Internationalグループ（主にペットケア製品の製造・販売、及びその他販売業）の持株会社

（２）企業結合を行った主な理由

当社は創業以来、海を起点とした原料の持続可能な調達・加工を事業の根幹に置き、安全・安心な食品の製造・品質保証・流通体制を構築しております。この事業基盤を競争優位の源泉として、当社グループは北米・欧州・日本を中心にペットフードの事業を展開・拡大してまいりました。

世界のペットフード市場は2032年にかけて年率５～７％の成長が予測されており、中でもアジア市場はCAGR約８％と、中間所得層の拡大とペット飼育率の上昇を背景に、最も高い成長ポテンシャルを有する地域として位置づけられております。

こうした市場環境を踏まえて、さらなるペットフード事業拡大を目指し、マレーシア市場において圧倒的なブランド力を有する当該会社の株式を取得し、アジアでのグローカル戦略を加速させてまいります。

（３）企業結合日

2026年９月１日（みなし取得日６月30日）

（４）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

（５）結合後企業の名称

変更はありません。

（６）取得した議決権比率

51%（うち間接所有分51%）

（７）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社が現金を対価として株式を取得するためであります。

２．中間連結損益計算書に含まれている被取得企業の業績の期間

当中間連結会計期間は、貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。また、被取得企業の決算日と当社の決算日が異なっているため、６月末で仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

３．被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	283百万マレーシアリンギット	(11,220百万円)
取得原価		283百万マレーシアリンギット	(11,220百万円)

４．主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等　483百万円

５．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

（１）発生したのれんの金額

8,811百万円

なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末におきましては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

（２）発生原因

主として今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

（３）償却方法及び償却期間

償却期間は、現在算定中であります。

６．本企業結合日に受け入れた資産及び受け入れた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	6,267百万円
固定資産	1,509百万円
資産合計	7,777百万円
流動負債	2,516百万円
固定負債	478百万円
負債合計	2,995百万円

７．取得原価の配分

当中間連結会計期間末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

８．本企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当中間連結会計期間の中間連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当中間連結会計期間末における概算額の算定が困難であるため、記載しておりません。

事業分離

（子会社株式の一部譲渡）

当社は、2026年５月11日開催の取締役会決議に基づき、当社の完全子会社であるUmiosロジ株式会社の発行済株式の51％を譲渡いたしました。本譲渡により、Umiosロジ株式会社及びその子会社１社（以下、「Umiosロジグループ」という。）は連結の範囲から除外され、Umiosロジ株式会社は持分法適用関連会社となりました。

１．事業分離の概要

（１）分離先企業の名称

センコーグループホールディングス株式会社

（２）分離した企業の名称及びその事業

名称：Umiosロジ株式会社及びその子会社１社

事業の内容：低温物流事業（冷蔵倉庫業・貨物利用運送事業・通関業）

（３）本件譲渡の理由

当社は、2025年５月26日にセンコーグループホールディングス株式会社との間で物流機能（Umiosロジグループ）を中心とした包括的業務提携契約を締結、この協業を通じて、長期的な戦略パートナーとして強固な信頼関係を構築してまいりました。

その背景としては、昨今、物流業界においては、人手不足・エネルギーコストの高騰など事業環境の変化が続いており、当社グループにおける物流機能の持続可能性を高めるには、センコーグループホールディングス株式会社のような物流専業企業のノウハウと経営資源を積極的に活用していくことが不可欠といった認識にもとづくものであります。

そうした中、今般、センコーグループホールディングス株式会社は近年主流となりつつある高次加工品に求められる物流品質を輸配送も含めて担保できる体制を有するとともに、海外貨物・国内貨物の受入及び保管能力においても当社の事業運営に則した形で持続可能な体制を構築できるパートナーであることを確認いたしました。

以上を踏まえ、当社グループの物流機能の持続可能性を最大限に高めるとともに、Umiosロジグループの力を最大限に伸長させられる譲渡先として、同社が最適であると判断いたしました。

なお、譲渡完了後も、Umiosロジグループは引き続き当社グループの物流機能を担う中核的な存在として当社グループへの安定的・持続的な物流サービスの提供を継続することをセンコーグループホールディングス株式会社と確認しております。

（４）事業分離日
2026年９月１日（みなし譲渡日2026年９月30日）

（５）法的形式を含むその他取引の概要に関する事項
受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

２．実施した会計処理の概要
（１）譲渡損益の金額
関係会社株式売却損　1,722百万円

（２）譲渡した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	4,727百万円
固定資産	49,262百万円
資産合計	53,990百万円
流動負債	5,022百万円
固定負債	36,199百万円
負債合計	41,221百万円

（３）会計処理
当該譲渡株式の売却価額と連結上の帳簿価額との差額等を、「関係会社株式売却損」として特別損失に計上しております。

３．譲渡した事業が含まれていた報告セグメントの名称
報告セグメントに含まれないその他の事業セグメント

４．当中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に計上されている譲渡した事業に係る損益の概算額
売上高　9,218百万円
営業利益　1,432百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産資源	食材流通	加工食品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	55,631	376,680	93,940	526,252	10,445	536,697	－	536,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,591	8,072	9,489	38,154	4,426	42,580	△42,580	－
計	76,223	384,753	103,430	564,406	14,871	579,278	△42,580	536,697
セグメント利益	1,254	8,942	7,484	17,680	1,885	19,565	△825	18,740

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び不動産事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△825百万円には、セグメント間取引消去△243百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントへの配賦差額を含む）△582百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	水産資源	食材流通	加工食品	計				
売上高								
外部顧客への売上高	64,382	398,481	95,924	558,788	10,483	569,271	－	569,271
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,807	7,271	8,098	38,177	4,770	42,947	△42,947	－
計	87,189	405,753	104,022	596,965	15,253	612,219	△42,947	569,271
セグメント利益	639	6,938	4,683	12,260	1,922	14,182	180	14,363

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業及び不動産事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額180百万円には、セグメント間取引消去284百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用（報告セグメントへの配賦差額を含む）△104百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメント変更等に関する事項

（報告セグメントの区分変更）

事業ユニットの編成については、主に販売機能の集約・強化を目的として、当中間連結会計期間より、「水産資源」の養殖ユニットにおける販売機能の一部を「食材流通」の水産商事ユニットに移管しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

2026年９月１日に完全子会社であるUmiosペットケア株式会社を通じて、Pet World International Sdn. Bhd.の発行済株式を51%取得したことに伴い、加工食品セグメントにおいて、のれんの金額が前連結会計年度末に比べて8,811百万円増加しております。

なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末におきましては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

（重要な後発事象の注記）

（取得による企業結合）

当社は、2026年10月26日開催の取締役会において、新設する持株会社を通じて、High Liner Foods Incorporated（以下、「High Liner Foods」という。）の発行済株式の100％を取得（以下、「本件株式取得」という。）し、完全子会社化するための手続きを開始することを決定いたしました。本件株式取得に当たっては、カナダ上場会社の株式を100％取得する方法の１つであるノバスコシア州会社法に基づくPlan of Arrangement（以下、「PoA」という。）の手続きにより、High Liner Foodsの全株主が保有する株式を現金にて取得する予定であり、当社及びHigh Liner Foodsの取締役会における決議を経て、2026年10月26日に、High Liner Foodsとの間で本件株式取得に関する合意内容を定めるArrangement Agreementを締結いたしました。

PoAの実施には、本件株式取得の受け入れについてのHigh Liner Foodsの株主総会における承認、裁判所の承認及びその他の条件の充足等が必要になります。

１．企業結合の概要

（１）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：　High Liner Foods Incorporated

事業の内容　　：　水産加工品（主に冷凍水産品・冷凍食品）の調達、加工及び販売

（２）企業結合を行う主な理由

米国及びカナダのBtoB・BtoCの両分野で強い販売基盤を築き、安定した収益力を維持しているHigh Liner Foodsの株式を取得することにより、当社グループのスケソウダラ資源を北米市場で付加価値の高い商品として届ける体制を構築することができ、川下事業の拡大によりグループ全体での収益力向上を目的として行うものであります。

当社グループのグローバルな水産物調達ネットワークと、High Liner Foodsの北米における高付加価値加工基盤を組み合わせ、水産物の調達から消費者の食卓までを一貫して担う垂直統合型の事業の構築を目指してまいります。

（３）企業結合日

2027年１月（予定）

（４）企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

（５）結合後企業の名称

変更はありません。

（６）取得する議決権比率

100％（うち間接所有分100％）

（７）取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社が現金を対価として株式を取得するためであります。

２．被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	約804　百万カナダドル	（約89,131百万円*）
取得原価		約804　百万カナダドル	（約89,131百万円*）

＊１カナダドル＝110.86円で換算（2026年９月30日現在）

３．主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

４．発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

５．企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。